

呉の観光PR役として

ひとつ ばし

言語・コミュニケーション学科

一橋さんが

くれマリンクイーンに選ばれる!!

呉まつり協会が募集した「くれマリンクイーン」の一人に選ばれた一橋さん。年間50回ほどのイベントや観光キャンペーンに、3人のマリンクイーンが交代で参加し、呉のアピール役を担います。

呉は映画「海猿」のロケ地であり、2年前に「大和ミュージアム」が、今年4月には「てつのくじら館」が開館。飲食店が増えるなど、市全体が活性化されてきています。

「女の子にしかできないことで、記念に残る体験を」という母親の勧めをきっかけに応募。面接では「今まで目を向けていなかった故郷の魅力を見直し、全国に伝えたい」と主張し、応募者24名の中から選出されました。「選ばれたときは、未知の世界に触れられる期待感でいっぱいだった」とのこと。デビューとなった4月29日開催の呉みなと祭では、市民の視線を浴びながら、「『この子なら納得できる』と思われるように頑張ろう」と決意したそうです。

活躍の場は、企業の式典や県外での物産展、お祭りのイベントのアシスタントなど幅広く、最も楽しみなのは、「地域住民との触れ合い」とのこと。「最近物騒な世の中で、挨拶さえしにくい雰囲気ですよね。この1年間で私自身が呉を知り、観光客の方はもちろん、地元の人たちに呉の良さを伝えていきたい。特に同年代の方に、故郷を大切にすることをほしいです」と意気込みを語ってもらいました。

将来の夢は観光、旅行業などで接客に携わること。マリンクイーンの実験は、大きな糧となるに違いないでしょう。



言語・コミュニケーション学科 3年
一橋 ゆかり さん